2025年度 第2学期 客員教員 によるゼミ開講のお知らせ

群馬学習センター所属の在学生がより深く学習を進めるとともに、学生同士やセンター教員との交流を深めるなど、学生の修学環境の充実を図るため、下記のとおり教員によるゼミを開講いたします。

1.対象者 群馬学習センター所属の全在学生(休学者不可)及び名誉学生。 原則として、同一ゼミ日程のすべてを受講可能な方に限ります。

電話:027-230-1085

3. 受 講 料 無料

4. テキスト テキスト指定のゼミは、各自が必ず書店等でお買い求めください。 欠席した日の配布資料について、後日配布の対応は行いません。

5.その他 駐車スペースには限りがありますので、公共交通機関、市営駐車場等を利用してください。

改修工事のため駐車場が一部利用できない場合があります。

担当	定員	日程(講師都合等で変更することがあります)							
藤本	32	10:00 ~ 11:30	11/5 (水)	11/12 (水)	11/19 (水)				
松浦	15	15:30 ~ 17:00	11/26 (水)	12/3 (水)	12/10 (水)	12/17 (水)	12/24 (水)	1/7 (水)	
黒岩	22	13:30 ~ 16:30	2/7 (土)	2/8 (日)					
小野里	17	13:30 ~ 15:00	11/14 (金)	12/12 (金)	1/9 (金)	2/13 (金)	3/13 (金)		

「源氏物語」の学びのために Ⅱ 一条朝後宮の風雅

藤本 宗利 (放送大学客員教授・群馬大学名誉教授 専門分野:平安時代の文学)

千年も前から、多くの読者の心を魅了してやまなかった『源氏物語』。今回は作品の創作という視点から、作品の創作環境であった一条朝の後宮の文化的様相を読み取ることで、『源氏物語』を生み出した基盤を考察します。

テキスト: 必要な資料をゼミで配付します。

「脳・心・人工知能」を読む

松浦 **勉** (放送大学客員教授・群馬大学先端医療開発センター研究員・東京都立大学客員教授 専門分野:数理工学)

甘利俊一著「脳・心・人工知能」を、数理的背景やエピソードを補いながら読んでいきます。この本は数理脳科学、情報幾何学の世界的リーダーである甘利先生が御自身の研究を振り返りながら、人工知能の本質や今後の展望について一般向けに書かれた啓蒙書です。2024年度のノーベル物理学賞は人工知能研究者であるジェフリー・ヒントンとジョン・ホップフィールドが受賞しましたが、その発表直後から「受賞者の中に Amari が含まれないのはおかしい」との意見が世界中で巻き起こりました。ヒントンの主要業績「誤差逆伝搬法」は Amari がその 20 年ほど前に、ホップフィールドの「連想型ニューラルネットワーク」は、これも Amari がその 10 年ほど前に提唱しており、研究者うちでは良く知られていたからです。甘利先生は、これらの業績や情報幾何学の創設などの仕事で 2025年「京都賞」を受賞されました。松浦は学部・大学院と甘利研に所属しており、直接、甘利先生の薫陶を受けてきました。その時に教えられた事柄やエピソードも交えて、「脳・心・人工知能」を解き明かしてみたいと思います。

配布資料:毎回レジメや補足事項を配布します。

テキスト:脳・心・人工知能(甘利俊一 ブルーバックス 講談社)。2025年発刊の

増補版(2016年の旧版にChatGPT などの最新の進展について3章分が追加

されている。)が望ましいが、旧版でもよい。

参考図書:神経回路網の数理(甘利俊一 ちくま学芸文庫 2024)

子どもの心身の健康問題とその支援について考える

黒岩 初美(放送大学客員准教授 専門分野:学校保健・学校心理学・スクールカウンセリング)

大切な子どもたちが安心安全な環境のもとで、健やかに成長することを誰もが願っています。しかし、子どもを取り巻く現在の社会状況は深刻です。少子化により一緒に学んだり遊んだりする仲間が少ない、保護者は共働きや核家族化で子育てに時間がかけられない等の日常生活から発生する問題が、徐々に子どもたちの心身の健康に影響を及ぼしていきます。いじめ、不登校、発達障害、虐待、貧困やアレルギー等の問題の要因は複雑に絡んでいます。これらの問題の解決に向けて、的確なアセスメントによる支援の実際を、"協働や寄り添う"をキィワードに視聴覚教材の視聴と事例検討を通して受講生の皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

テキスト: 必要な資料をゼミで配付します。

参考図書:「発達障害と呼ばないで」岡田尊司 2019

:「面白いほどよくわかる!臨床心理学」下山晴彦 西東社2012

裏面に続く

イングリッシュ:記事で学ぶ英語

小野里 好邦 (放送大学群馬学習センター前所長 専門分野:情報通信工学)

時事英語を題材としてゼミを開講します。時事英語は、日常生活に結びついた 内容なので、ゼミ参加者が具体的にイメージでき、英語と日本語が頭の中で融合 しやすくなります。参加者各自のこれまでの社会経験・英語経験を踏まえて、ご 自分なりの世界を構築し、その一端を3分間スピーチとして発表します。 情報の伝え方、コミュニケーションのとり方について考えてみませんか。

テキスト: 必要な資料をゼミで配付します。